

D-53 高次元小標本におけるナイーブな正準相関係数を用いた特徴選択手法の提案

島根大学大学院総合理工学研究科 玉谷 充

目的

- 特徴選択手法：主に2つのステップに分けられる
 - 1 特徴に関するランキング法
 - 2 特徴の選択個数の基準

提案手法

- ナイーブな正準相関係数 $\hat{\lambda}$ の近似分布 \rightarrow 信頼区間を構築
- 信頼区間を用いて特徴の選択個数の基準を改善

